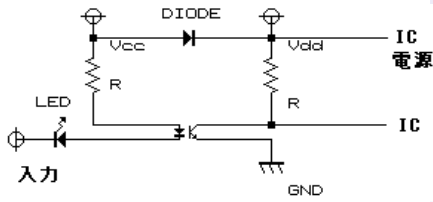


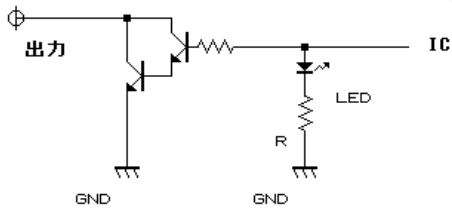
入力等価回路 GNDレベルにてON



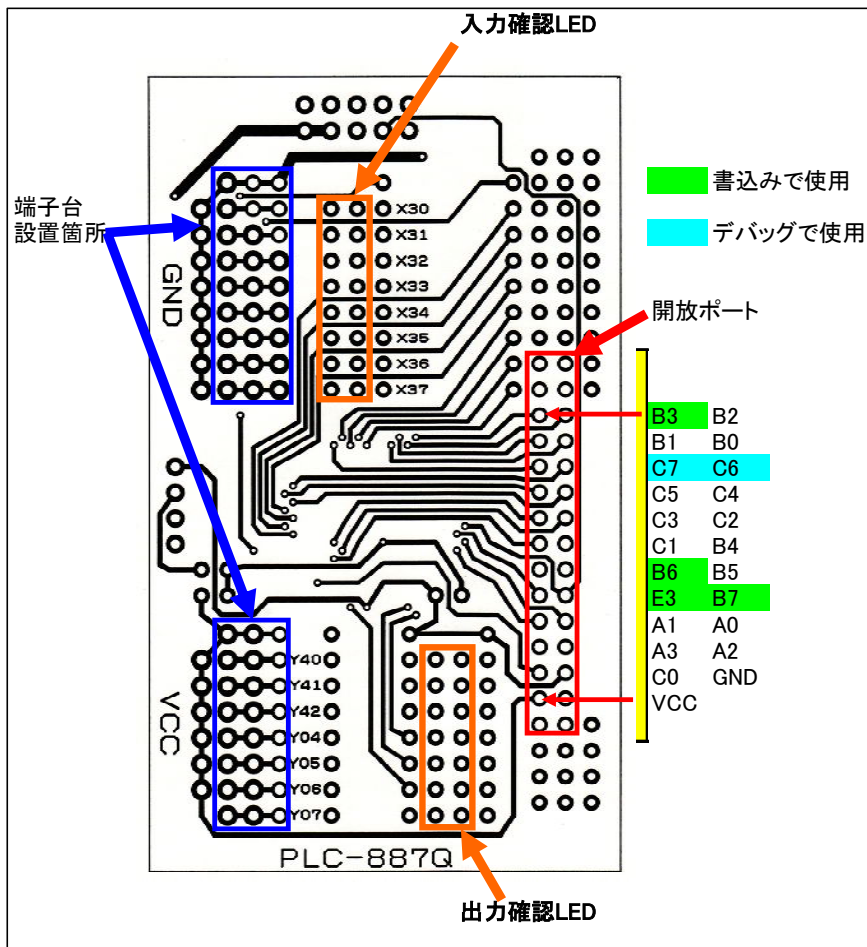
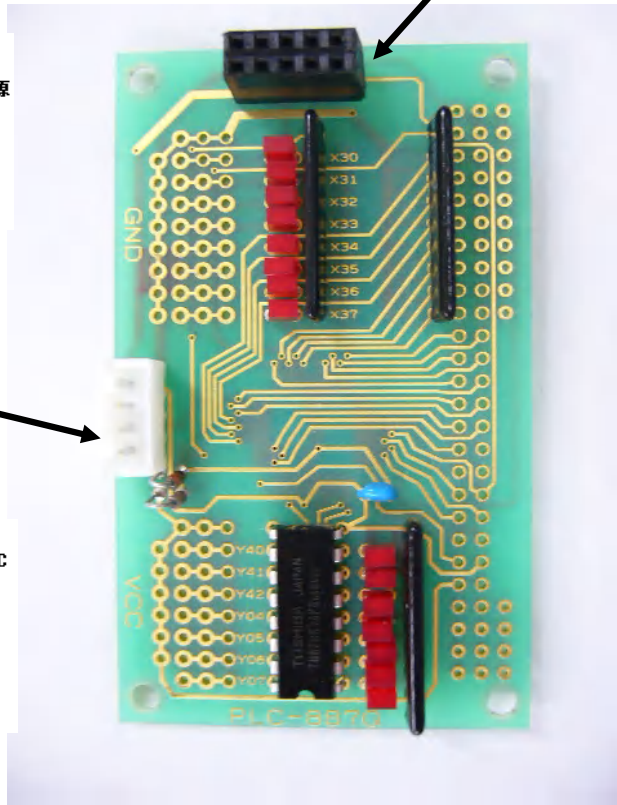
Vccに電源供給をしないと入力は動作しません。
書き込み時はVcc電源をお切りください。
デバッグ時はVcc電源を供給してください。

デバッグ用CN

出力等価回路 Open コレクタ- (L出力)



書き込み用CN



1 ドライバーとプログラムをダウンロードしてください

PICライター： MiniPICProg.lzh	USB Driver： R2176.zip
---	--

2 DwonLoadした“MiniPICProg.lzh”を解凍してください。(MiniPICProg)

MiniPICProg.exe がプログラム本体です。アイコンまたは適当な場所に作成したショートカットをクリックするとプログラムが起動します。

3 DwonLoadした“R2176.zip”Fileを任意の場所に解凍してください。(FT232RL)

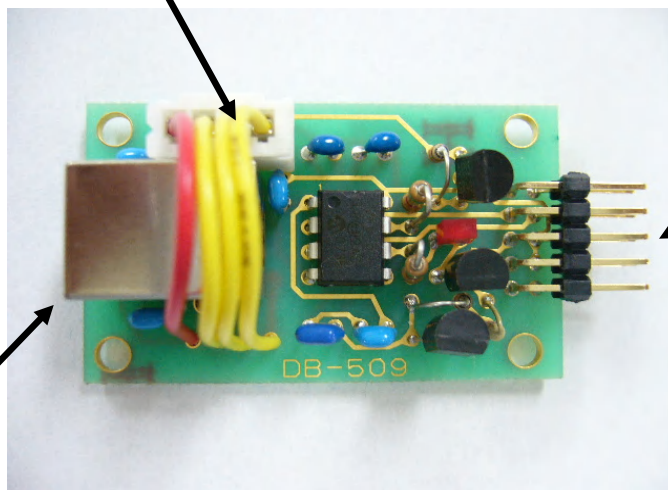
4 本体をPCに接続してUSBを接続するとハードウェアウイザードが起動します。

4にて解凍した場所を指定して、ドライバーを入れてください。

デバイスマネージャーにてUSB Seral Port (COM*)ができていることを確認してください。

5 通信ポートは上記5にて確認したポートを使用してください。

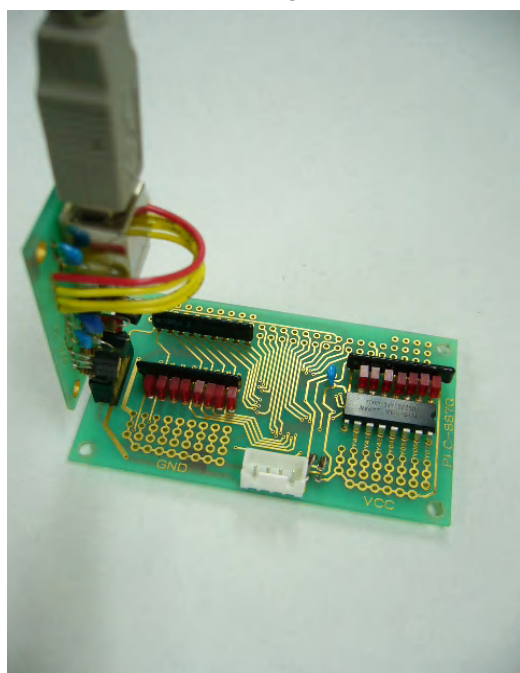
デバッグ用CN



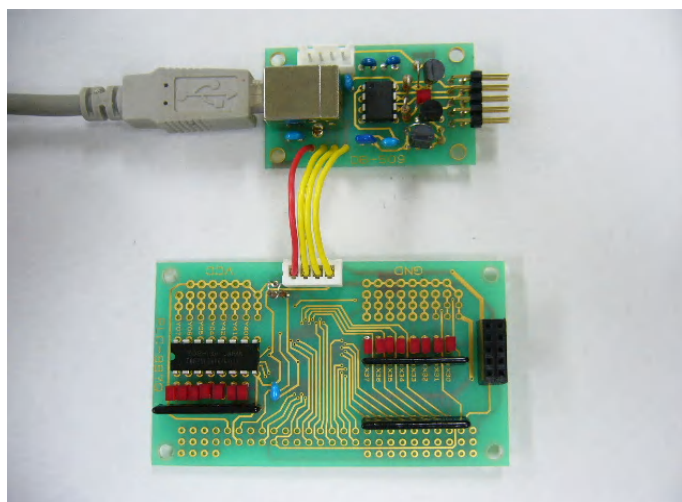
Witer用CN

PC接続用USB(Bタイプ)

接続例(書き込み:Programu)



接続例(PLCに、デバッガとして接続した写真)



電源はVCCとGNDに接続して供給してください。
上記写真は接続サンプルで、このままでは入力が動作しません。

VCCとGNDより電源供給しますが、書き込み時は電源を切った状態で書き込みを行ってください。

CNを抜く場合は、ケーブルを持たないで下さい。断線の原因になります。

※) 電源をいれたままでのCNの抜き差しは故障の原因になります。
必ず、USBコネクタを抜いた状態でCNの抜き差しを行ってください。